



## 2. ワークスタイル

# 林業で移住 定住 仁淀川林産協同組合

仁淀川町、仁淀川林産協同組合

- 仁淀川町の取り組み、林業で移住から定住へ
- 林業体験、研修制度、担い手の育成



## 仁淀川町林業研修制度

本気で林業に携わりたい方を求めています!!

仁淀川町は高知県の山間部、愛媛県との県境、水質日本一を誇る清流・仁淀川の上流域に位置します。「V字峡谷」とよばれる高い山と深い谷が織りなす美しい景色が特徴です。森林率は89%を占めており、豊かな自然を活用した林業の担い手を育成するため、仁淀川町林業研修制度を平成27年度より行っております。

今回は研修制度を使い高知県外から移住された岡山さん、一ノ宮さん、運営する仁淀川町役場の奥田さんに「仁淀川町での今の林業」についてうかがいました。

【仁淀川町 林業研修生の今】 仁淀川森林組合 造林班 岡山さん(3期生)



### 【研修生の紹介】

- 岡山さん(3期生)
- 研修先:仁淀川森林組合 造林班
- 移住相談フェアをきっかけに林業体験ツアーに参加
- 平成30年度に林業研修制度を活用し大阪府より移住

### 移住したきっかけはなんですか？

「岡山：平成29年6月に大阪で開催された移住相談フェアですね。」  
フェア終了10分前に仁淀川町職員の奥田さんに声をかけられ、仁淀川町の林業体験・移住の取り組みについて説明してもらった事がきっかけ。

### 移住相談フェアに行ったきっかけは？

大阪での暮らしに疑問を思い始めていた。大阪の暮らしより、自然のなかの暮らしがよかった。夫婦で山にハイキング行くようになり、そのなかで自然のなかで人間がいるほうが暮らしよいなと感じた。大阪にいと鉄筋コンクリートに囲まれて、夜になって明るい、人間としてストレスが大きいと感じた。  
奥さんはもともと高知県土佐清水市出身、この時点でお子さんは1歳3ヶ月。

### これからが家族として大切な時期へ不安はなかったですか？

不安は大きかった。長年生まれ育った地を離れることと、数ある職業の中で一番辛いと聞く林業に飛び込んで、自分がついていけるか漠然とした不安が大きかった。

### ご家族の反対はなかったですか？

父は、初孫が離れることが寂しいと言っていた。けれど父も元は宮城の海岸沿い、自然のなかで育ったということもあり、子供は自然のなかで育てた方がいいという点で後押ししてくれた。  
かみさんは応援してくれた。でも不安はあったと思う。かみさんは高知県内に姉夫

婦、両親が住んでいる。近くなるという点ではよかったんじゃないか。逆にこれが二人の実家から遠くなったとすれば、もっと不安はあったと思う。その事がいい方向に流れた。近いとはいえ仁淀川町に親戚がいないことこのしんどさはある。今子供が風邪をひいて3日間休んでいる。実家にすぐ頼れる状況があると違うと思う、そういう面で負担をかけていると思う。

かみさんは地域おこし協力隊で働いている。職場は子供の体調が崩れたときの理解があり、少し休みをもらうなど町からのご理解もあり助かっている。回覧板でファミリーサポートセンター(※1)が仁淀川町でも始まるのを見た、こんな時に利用してみたい。  
※1 仁淀川ファミリーサポートセンター <https://niyodogawa-fsc.town/>  
「子育てを助けてほしい人(依頼会員)」と「子どもを預かる人(援助会員)」が会員となって地域で子育てを助け合う会員制の有償ボランティア組織です。

### どんなお仕事をしていますか？

仁淀川森林組合 造林班は、木を切り終わった後の山に入り、山肌を整備し杉・ヒノキを植林している。植林してから6年くらいまでは毎年夏場に下草刈りをする。それと除伐、10年目くらいで周りの雑木をきる。

### 研修先を仁淀川森林組合に決めたきっかけは？

実際は3回くらい旅行や受け入れ先の打ち合わせに仁淀川町にきていた。林業は一般的に切って出荷するのが一般的なイメージだと思うが、当然今ある木も50年、60年前にこれまでの人たちが植えてくれたからこそ今の木がある。この木という財産を残すためには、育てる方の仕事に関わらなければ。ものすごくしんどいとは聞いていて不安はあったが、造林の仕事は人がものすごく少ない現状がある。この先、木を切るだけでなく植えて育てる人がいないと木が無くなってしまおうと思った。自分は好き嫌いなく仕事は一通りやってみたいという考え、どうせやるなら育てる方の仕事をやりたい。造林の仕事があるのが森林組合だと説明してもらった。2、3年は造林班で修行させてもらい、それから切るほうの仕事も経験してみたいと思っている。

### 森林組合に入って事前にもっていたイメージとギャップはありましたか？

仕事内容についてはだいたいイメージにあった。予想以上に山を歩くことが仕事というが、道が奥と奥と運がよい、これから道をつけるようなところがほとんど。マラソンをやっている体力には自信があったが、山の男の足腰の強さにはびっくりした。大阪にいたときはこんなにお昼ごはんの時間が待ち遠しいとは思わなかった。

森林組合さんでの仕事では十分すぎる環境をもらっている。  
怒られることもあるが、それは自分が怪我をしないようだったり、お客様の大事な財産を育てている、そういう点で厳しいのは当たり前、その中でも優しさをととても感じている。  
長年経験を積んで培って来たものを、自分のような移住者に仕事を教えてくれることがどれだけありがたいことか。

### 独立は考えていますか？

視野に入っていないわけではない。漠然と自伐型に興味がある。

### 移住された方が自伐型だと、施業できる山の確保が課題になると思う、仁淀川町のなかで協力いただける山主さんを探すのが良いと思うがどうですか？

いけたらなんと漠然とは思いますが、はたして自伐型でどこまでできるかの不安がある。今だから仲間助け合って作業ができることのありがたさがわかる。もし怪我をしたときに仲間がいてくれるからこそ発見してもらえ、頼ることができるのは大きい。どちらに優劣があるかではなく、それぞれ自分の今後のライフスタイルに合わせて選んでいくと思う。



- 【研修生の紹介】**
- 一ノ宮さん(3期生)
  - 研修先:(株)仁淀川開発
  - 森林の仕事ガイダンスをきっかけに林業体験ツアーに参加
  - 平成30年度に林業研修制度を活用し 埼玉県より移住

**移住したきっかけはなんですか？**

郡内で通勤途中に貼ってあった「森林の仕事ガイダンス」のポスターを毎日見るうちに気に入り参加してみたのがきっかけ。ふらふらと歩いていたら仁淀川町さんに声をかけてもらった。自然とは、かけ離れた埼玉県にずっと住んでいて、なんとなく自然のあるところで住んでみたいと思っていた。森林の仕事ガイダンスで役場の方に仁淀川町の林業体験ツアーがあることを聞き、とりあえず行ってみようと思って参加させてもらった。元々は電気工事士をしていたため、体力的にはあまり不安はなかったが、自然の中に囲まれて仕事をするという事は行って見て体験してみないと解らない。そこを知るための機会として参加させてもらった。

**林業体験ツアーの時点で本気で移住しようとのくらい考えていましたか？**

その時点では移住はあまり、半々くらいかもっと少ないくらいにしか考えていなかった。20年住み慣れた土地、埼玉の都会の小僧がまったく逆の環境で生き残れるのか??不安もあった。ツアーに参加してまずパンフレットが嘘じゃなかった事に感動した。川の水がずっときれいで素晴らしい、体験ツアーに来てから移住への気持ちがとても盛り上がった。

**仁淀川町の生活で良い点、悪い点はありますか？**

良い点は、自分でもこの一年こんなにも人と関わった事、これってすごいなと思うくらい。  
若干無理した部分もあったんだけど、最初の一年はとても大事な年と思って、無理をして大変なこともあった。けれど今は、それが段々とつながっていている、実家に帰った時に友達からもすごい明るくなったよねって言われて社会的な人間になれたかな??と思う。自然もあいまって心がおおらかになって、人間として成長させてもらっていると思う。

悪い事ではなく、なれないことは、自分の責任でもあるけど、付き合いを断らなすぎて生活がメチャクチャな時がある。今年から断るところは断りつつ、自分のペースを守っていききたい。週6勤務で自分の時間が日曜しかない、そこにソフトボールや草野球にも入ってしまいいろいろ大変。この一年間駆け抜けた感じがあるので、こっからペースを落として頑張りたい。

**仁淀川開発でのお仕事の内容は？**

収入間伐を行っていて、基本的には伐倒、造材、運搬の全部一通りをこの一年でやらせてもらった。一通りこういうふうに戻っていくんだなというところを、つかませてもらった。積極的に「じゃあ切ってみて」とかとても積極的に言ってくれる方が周りにいたおかげでやりがいを感じ、先輩方とくらべて切るスピードも遅いし、正確な方向に伐倒できる技術もまだないが、自分に合わせたペースで(合わせてくれている)一緒に間伐作業や集材作業をやってくれる。僕が仁淀川開発、最初の研修生ではあったが、本当に良くしてもらって、林業という仕事が楽しいと思える、素晴らしい方々と一緒に仕事ができています。

**仕事で辛いことはありますか？**

タイミングが悪く最初の現場が一番辞めるんじゃないかと言われたくらい厳しい現場だった。最初なので資格もなく、下の方までワイヤを引っ張って行ってまたそれを取りに行くような作業だった。それでも楽しいから不思議とそれほどきつくは感じなかった。

**研修先を仁淀川開発に決めたきっかけは？**

仁淀川町からの紹介、全く知らず最初に聞いたときは、「えっ」と思った。面接で初めて会って、一週間後にはもうやりましょうという流れ。今では仁淀川開発でよかったと思う。地域の方々と触れ合える機会が多く自分に合っていると思う。商工会にも入っておりそういった意味でも自分に合っていると思う。

**今後独立は考えていますか？**

もちろんやってみようという気持ちはある。けれどこの先、人生のいろんなタイミングの時に自伐になるか?は、その時にある程度知り合いがいて、そういう段階にならないと考えられないと思う。それだけ重機購入等の起業資金や仲間がいらないことのリスクを考えるとあまり自伐は考えられない。やってみようという気持ちはある。

仁淀川町からみた研修生の姿



**仁淀川町さんから見て、今回お話をきいたお二人はどうですか？**

仁淀川町奥田さん：  
本当によくやってくれていると思う。岡山さんは奥さん子供もいて、地域の商店街の真ん中に住んでもっている。田舎特有のふれあいにのまがらず、うまく馴染んでくれている。  
一ノ宮くんは商工会青年部にも入ってくれて、お酒をよく飲むことも聞いているが、変な酔い方をするわけじゃない、安心して研修をやってもらっている。将来自伐は?という話があったが、これから将来仁淀川町として支援できるのではと考えている。5年後、10年後やっていった中で、自伐をやりたい方が一番の課題になるのは山ですね。自伐に限らず小規模林家であれば、町が今やっている方法、仁淀川林産協同組合で団地化をどんどん進めていって、その下の組合員にうまく、小規模ずつ年間3haとか分けて貸し出すような体制作りができないか考えている。これから皆さんが育っていく中で次の課題として、独立独立とかそういうのをどんどん増やしていくのは、昔の仁淀川町のようないい流れにできるのでは思っている。いま一生懸命やってもらって今後の独立も支援したい、そうすることで仁淀川町に残ってもらえるでしょう。

岡山さん：  
移住者の責任というか、やっぱり町が良くしてくれている分、僕らも長く住むことで僕らが良い例になれば、他の方が移住してきた時に街の人が信用して受け入れてくれる事につながるのではと感じている。僕らがいま住んでいるのも、先に移住された方や嫁いで来られた方が、ずっと住むことによって、町の方の信用を得た事で受け入れられたと思う。移住者が増えれば良いと思うが、かといって無責任に良いところだけを言うつもりはない。ここもうちょっとあれやったらいいなと思うことは、正直に移住者の方と話しあったり、そういったなかでもっと残ってもらえるようなことにしていきたい。

仁淀川町 奥田さん:

仁淀川町の林業研修制度は、できるだけ即戦力になってもらいたい。その思いで研修生に頑張ってもらっている。そこがうまく行っている点だと思える。取れる資格等は研修先の事業体によって違う。使うものによって緑の雇用(※2)を使っているとことになるが、研修生になるタイミングによって取れるものが違う。林業研修制度の1年間+緑の雇用での雇用3年間の合計4年間しっかりと自分の技術を磨いてほしい。

※2 緑の雇用 <https://www.ringyou.net/>

3. 支援制度の紹介

機械のレンタルを支援します。

機械のレンタル

作業道を作設するためのバックホウや、林内で間伐した丸太を運ぶための林内作業車などの林業機械のレンタルに対して支援をします。

▶レンタル料等を補助します。

補助対象経費	補助率・補助上限額	補助要件
レンタル及び回送に要する経費(消費税を除く)	2分の1以内 レンタル期間は6か月以内	バックホウ(0.25m規格相当以下)、林内作業車、ダンプトラック等、木材の集材・運搬に必要な機械

上記のお問合せ 高知県木材増産推進課 TEL.088-821-4876

安全装備の導入を支援します。

安全装備

労働災害を防止するために着用する安全装備等の導入に対して支援をします。

▶安全装備購入費等を補助します。

補助対象経費	補助率等	補助対象品
安全装備等の購入費ただし、指定された3つの特別教育をすべて受講した者	定額 ただし、1人当たり4万円が上限	保安帽、防振手袋、チェーンソー防護服など

上記のお問合せ 林業労働災害防止協会高知県支部 TEL.088-856-5721

## 現場での技術指導や安全対策を支援します。

### アドバイザー派遣

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木の選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーを派遣します。派遣日数は最大5日間まで、会員の方の自己負担はありません。

▶派遣アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率・補助上限額	補助要件
①アドバイザーへの報償費 ②アドバイザーへの旅費	定額 アドバイザーに支払う報償費は1日当たり2万4千円を上限とする。 ※派遣日数は1人当たり先進地見学研修と合わせて最大5日間まで	アドバイザー派遣を申請する者が会員であること

### 先進地現地研修

小規模林業を実践する方からの要請に応じ、作業道の開設、間伐木の選定、搬出間伐等の現場指導ができる林業実践アドバイザーの事業地を訪問する事業です。

▶現地アドバイザーに支払う報償費を補助します。

補助対象経費	補助率・補助上限額	補助要件
アドバイザーへの報償費	定額 アドバイザーに支払う報償費は1日当たり2万4千円を上限とする。 ※派遣日数は1人当たりアドバイザー派遣と合わせて最大5日間まで	先進地現地研修申請者が会員であること

## 現場での安全対策を支援します。

### 保険

作業中の思いがけない事故による怪我への補償に備えて、傷害総合保険への加入に対して、助成をします。

▶保険加入に要する掛金を補助します。

補助対象経費	補助率	補助要件
傷害総合保険加入に要する掛金	2分の1以内 ただし、掛金は1人当たり2万7千円以内 ※補助額1万3千5百円が上限	傷害保険加入者が会員であること

### 蜂刺され対策支援

労働安全衛生の向上を目的に、小規模林業を実践する方が、蜂刺され対策として医療機関に支払う医療費に対して、助成をします。

▶蜂刺され対策として医療機関に支払う経費を補助します

補助対象経費	補助率	補助要件
蜂刺され対策として、医療機関に支払う経費 ※経費対象は、蜂アレルギー血液検査、処方登録受託医師診察料、自己注射管理指導料、自動注射器購入費、毒液吸い出し救急用具、スズメバチ忌避剤 他	2分の1以内 ただし、8千円が上限 ※自動注射器購入については1人1個までとし、購入費の補助金の額は5千円を上限	購入者が会員であること

上記のお問合せ

林材業労働災害防止協会高知県支部

TEL.088-856-5721

## 林業の担い手確保のために支援します。

### 間伐

自分で、自分の山の手入れをする場合

対象林齢	11～60年生	31～60年生	
事業名	公益林保全整備事業 (保育間伐)	森林整備支援事業 (搬出間伐)	
事業規模	0.1ha以上/施行地		
伐採率	30%	30%	20%
補助条件など	保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能が高い森林で集約化が困難な人工林	国庫補助事業の対象とならない人工林	
補助金額	定額 80,000円/ha	定額 183,000円/ha	定額 122,000円/ha

### 作業道

間伐材の搬出等を行うために必要な作業道を整備する場合

作業道路網の種類	路面整備	開設
作業道1.5m (幅員2.0m未満)	1mあたり100円	1mあたり500円
作業道2.0m (幅員2.5m未満)	1mあたり130円	1mあたり800円
作業道2.5m (幅員3.0m未満)	1mあたり150円	1mあたり1,000円
作業道3.0m (幅員3.0m以上)	1mあたり200円	1mあたり1,500円

お問合せ

高知県木材増産推進課

TEL.088-821-4602

## 4. ホームページ開設のお知らせ

**[URL] <https://kochi-shoukiborin.jp/>**

会員の活動事例や支援制度の紹介、協議会の開催など様々な情報を掲載していきます。ぜひ、御覧ください。

小規模林業

検索



## 写真が動く!?!を体験しよう!

無料アプリ「COCOAR2」をダウンロードして動画を見よう!

このパンフレットのマークのある写真にスマートフォンをかざすと写真が動き出します!

「COCOAR2」ダウンロード



\*紙面から外すとフル画面に変わります。  
\*動画を押しと一時停止～再生が可能です。

使い方



①アプリを起動



②写真をスキャン



③紙面で動画が流れます



④をタップで次のスキャンへ



小規模林業 動画

※タップ後の遷移先は「<http://kochi-shoukiborin.jp/p/>」です。